

わたしのすきな絵本

「今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～」(8月)

<ご紹介者>

矢祭町長 佐川 正一郎

矢祭町子ども読書の街づくり推進委員会委員長



『クラウディアのいのり』

村尾靖子 文・小林豊 絵／ポプラ社

対象：小学生から高齢者まで



内容のご紹介

今年も暑い夏です。お盆の休暇の中で、法事があり久しぶりに家族が揃いました。孫たちの成長は、驚くものがありました。8月は、先の大戦の慰霊祭や、戦争にまつわる話題や、記事が報道されています。

今月紹介する絵本は「クラウディアのいのり」です。実話で臨場感あふれる場面が出てきます。

シベリア抑留された日本人男性とロシア人女性との出会いから、結婚して約40年間居住の後、51年振りに日本へ帰国したお話です。

結婚とは、家族とは、愛する人とは、何だろうと考えさせられます。

クラウディアの“人の悲しみの上に、私だけの幸福を築くことはできない”という言葉が印象的です。

戦争後のロシアで思いもよらない出会いをした日本人男性とロシア人女性。長い年月を共に支えあい、ひたむきに生きた二人の愛はかけがえのないものに・・・。

紹介文／ポプラ社

40年の年月を過ごした二人に、一通の手紙が届きます。日本で帰りを待ち続ける家族がいる知らせに、ロシア人女性は「愛する人がいちばん望んでいることをしたい」と、取った行動は・・・ (矢祭もったいない図書)